

3月定例会

個人質問

農業政策について

馬越裕正議員

地域・官・学連携事業について

議員 地域・市役所・大学との連携で行われている保健医療従事者育成支援事業についてたずねる。

①本市はどのように関わっていたのか。

②学生の民泊で今後の地域住民との関係について参考になつたことはあるか。

市長 ①協働のまちづくり課が離島振興、健康医療課が地域医療の講師として参加した。

議員 11月1日に「古典の日」が制定されたが、本市の古典教育の現状と今後にについてたずねる。

「古典の日」について

蔵本隆文議員

少子高齢化社会対策について

少子高齢化社会対策について

議員 ①人口予測を踏まえ、将来持続可能な市・地域を目指すためには今のうちから将来に向けた明確な中期的施策が必要ではないか。

議員 ②転入重視より、在住している若い市民のための施策に転換すべきではないのか。

議員 市民活動との協働推進事業の今後の課題としている。地域内で事業実施する際に転換すべきではないのか。

議員 ①ここ1年のまちづくりの活動は思いどおりに進んでいたかたずねる。

議員 ②挑戦する市役所を具現化するために、まちづくりにおける職員の役割はどう変わったかたずねる。

市長 ①各地区の活動が目に見えるようになつてきており、全地域対象の避難訓練、住民が集うサロン活動等地域に合った様々な活動

議員 ①後継者対策及び新規就農者支援施策についてたずねる。

②農業における情報技術化についてたずねる。

市長 ①新規就農相談会、帰農塾等の農業研修を通じた就農支援を検討している。

②今後先進地での調査研究を考えている。

機会を設けている。

そして学習したことがその場限りで終わるのではなく、様々な文化行事に結びつけること、それらに積極的に参加できるような情報を提供を行うことが今後一層必要だと考えている。

た魅力あるまちづくりを推進していくが、多くの若い市民が住み続けたいと思うまちづくりも重要であり、今後は市全体で考え、定住促進本部で協議したい。

市長 ①多くの人に協議会の活動に参加してもらいたいながら地域内で人を育てること、志縁型団体との連携等により地域外の力を借りることが対策として有効であると考える。

②広報活動と参加者が楽しみながら継続して活動を進められるような雰囲気づくりが大事であると考える。

②積極的に参加してもらう仕掛けとして何が考えられるかたずねる。

仁科文秀議員

まちづくりの推進における行政と職員の支援について



議員 ①スタッフ不足を補う施策により多くの人に積極的に参加してもらうような仕掛けづくりが必要である。

議員 ①スタッフ不足を補う施策についてたずねる。

市長 ①今年度は定住促進に向けるのか。

教育長 俳句や短歌、歌舞伎や能等をさまざまな教科、道徳で横断的に触れさせる

多方面の交流に発展する可能性もあるのではないかと考えている。

